

平成 2 5 年度
建設局予算要求方針

【目次】

- 1 平成 2 5 年度建設局予算要求総括表及び経営方針 1
- 2 重点的に取り組みを行う主なもの 3
- 3 事務事業の見直し等 (主なもの) 1 2

1 平成25年度建設局予算要求総括表及び経営方針
 (1) 平成25年度建設局予算要求総括表

【一般会計】

平成25年度要求総額 31,759,217千円
 (平成24年度当初予算額 34,907,861千円)
 前年度比 9.0%

主な事業

(単位：千円)

事業名	平成25年度 予算要求額 A	平成24年度 当初予算額 B	増減 A - B
道路・街路事業	23,053,355	25,519,184	2,465,829
河川事業	2,813,687	3,008,421	194,734
公園事業	5,160,137	5,523,555	363,418

平成 2 5 年度 建設局予算要求総括表

【一般会計】

(単位：千円)

区分	H25要求額	H24当初予算	増減額	前年度対比
道路事業	12,800,543	13,603,596	803,053	5.9%
街路事業	8,404,900	9,976,396	1,571,496	15.8%
道路・街路事業 計	21,205,443	23,579,992	2,374,549	10.1%
河川事業	2,451,900	2,631,672	179,772	6.8%
公園事業	2,334,704	2,588,715	254,011	9.8%
その他	8,000	109,100	101,100	92.7%
投資的経費 計	26,000,047	28,909,479	2,909,432	10.1%
道路事業	1,847,912	1,939,192	91,280	4.7%
河川事業	361,787	376,749	14,962	4.0%
公園事業	2,825,433	2,934,840	109,407	3.7%
その他	724,038	747,601	23,563	3.2%
行政経費 計	5,759,170	5,998,382	239,212	4.0%
一般会計 計	31,759,217	34,907,861	3,148,644	9.0%
うち 道路・街路事業	23,053,355	25,519,184	2,465,829	9.7%
うち 河川事業	2,813,687	3,008,421	194,734	6.5%
うち 公園事業	5,160,137	5,523,555	363,418	6.6%

* 土木職員費を除く。

(2) 平成 2 5 年度建設局経営方針

建設局においては、「元気発進！北九州」プランに掲げる「便利で快適なまち」の実現と、公約である「緑の成長戦略で、人にやさしく元気な街づくり！」に掲げる政策課題に取り組むこととしております。

限られた財源の中で、これまで以上に厳しく選択を行いながら、次の5つの方針に基づき、事業を進めてまいります。

- 1 暮らしに身近な生活密着型公共事業の推進
- 2 次世代に引継ぐための施設の適切な維持管理
- 3 緑の成長戦略に資する快適なまちづくり
- 4 安全で安心な災害に強いまちづくり
- 5 交通・物流基盤の機能強化とネットワーク化

具体的には、

「1 暮らしに身近な生活密着型公共事業の推進」では、市民の声を聞きながら、通学路の安全対策や地域に役立つ公園づくりなど、市民生活に身近な道路・公園の整備を進めます。

「2 次世代に引き継ぐための施設の適切な維持管理」では、トンネルや橋梁の長寿命化に取り組むとともに、市民との協働による施設の適切な維持管理を図ります。

「3 緑の成長戦略に資する快適なまちづくり」では、自然エネルギーの活用やLED照明等の推進、自転車利用環境整備による自転車利用の促進など、低炭素型のまちづくりを推進するとともに、都心・副都心など中心市街地でのにぎわいのある快適なまちづくりを進めます。

「4 安全で安心な災害に強いまちづくり」では、九州北部豪雨災害や東日本大震災を踏まえ、河川の浸水対策や橋梁の耐震化など、災害対策の強化に取り組みます。

「5 交通・物流基盤の機能強化とネットワーク化」では、本市産業の競争力強化や企業誘致の促進、市民の交通利便性の向上のため、主要幹線道路の整備を推進します。

2 重点的に取り組みを行う主なもの

1 暮らしに身近な生活密着型公共事業の推進

市民の声を聞きながら、市民生活に身近な道路や公園整備などの生活密着型公共事業を推進します。

- 1 ・ 新規

☀ 通学路の安全対策

(新規) 725,000 千円

全国で通学児童の事故が相次いだことを受け、通学路の緊急合同点検を実施しました。その結果を踏まえ、児童が安全に通学できる環境を整えるため、教育委員会や学校関係者、警察と一体となって、更なる通学路の安全対策を推進します。



- 1 ・ 継続

☀ バリアフリーのまちづくりの推進

1,518,000 千円

【うち 505,000 千円は、「通学路の安全対策」(p.3)の再掲】

すべての人々が安全・安心で快適に暮らせる生活空間づくりを目指すために、歩道や公園などのバリアフリー化(段差の解消、手すり設置、エレベーター設置など)を推進します。



- 1 ・ 継続

☀ 暮らしに身近な歩行空間整備事業

180,000 千円

地域の活動や市民の生活に最も密着する生活道路において、緊急で即効性のある維持補修や歩道整備など、幅広く事業を展開し、地域の安全安心な歩行空間づくりを推進します。

☀ 健康づくりを支援する公園整備事業

22,000 千円

市民に好評な健康遊具を、医学・運動学の観点から開発を行い、効果的に配置することで、高齢者が日常的に健康づくりを行える公園整備を行います。

平成 2 5 年度は門司区と八幡東区で拠点公園の整備を行います。

継続的な健康づくりを促すための、『公園での健康づくり教室』など、普及啓発のソフト事業は保健福祉局で行います。



~ 公園を活用した健康づくりイメージ ~

☀ 地域に役立つ公園づくり事業

230,000 千円

小学校区を基本に既存の公園の再整備について、幅広く地域の意見を聞きながら公園の計画づくりを行い、地域住民と協働して、地域ニーズにあった公園へと改修します。

これまでに、市内 2 0 校区で事業を実施しており、平成 2 5 年度も新規の 2 校区で事業に着手します。



~ ワークショップ状況写真 ~

2 次世代に引き継ぐための施設の適切な維持管理

市民共有の財産である公共施設を健全な状態で次世代に確実に引き続いていくため、市民との協働を進めながら、適切な維持管理を推進します。

- 3 ・ 新規

☀ トンネル長寿命化事業

(新規) 143,000 千円

効率的かつ効果的な施設の維持管理を図るため、アセットマネジメント() の考え方を取り入れ、定期的な点検結果に基づき、トンネルの状態に応じた保守工事を行うなど、トンネルを長持ちさせる維持管理を推進します。

アセットマネジメントとは、施設の状況把握と分析に基づき、問題箇所の早期発見と適切な対応や、効果的な修繕による予防保全などを行い、中長期的な視点でより効率的かつ効果的な資産管理を行う方法です。



- 3 ・ 継続

☀ 橋梁長寿命化事業

1,946,000 千円

今後 100 年間の長期展望に立ち、効率的かつ効果的に資産管理を行うアセットマネジメントの考え方を取り入れ、定期的な点検の結果に基づき、橋梁の状態に応じた計画的な保守工事を行うなど、橋梁を長持ちさせる維持管理を推進します。



- 3 ・ 継続

☀ **道路サポーター事業** 20,000 千円

道路の清掃や花壇の手入れなどのボランティア活動を行う地域の団体を支援し、市民と協働による道路環境の向上と美しいまちづくりにつなげていきます。



「道路サポーター活動状況」

- 3 ・ 継続

☀ **河川愛護団体補助事業** 250 千円

河川の清掃や草刈などのボランティア活動を行う地域の団体を支援し、市民との協働による河川環境の保全に努めます。



「河川愛護団体活動状況」

- 3 ・ 継続

☀ **公園愛護会補助事業** 5,500 千円

公園の除草や清掃、花壇づくりなどのボランティア活動を行う地域の団体を支援し、市民との協働による美しい公園づくりに努めます。あわせて、新たなコミュニティ活動の場として、公園の一部を菜園などにも活用する取り組みを推進します。



「公園愛護会活動状況」

3 緑の成長戦略に資する快適なまちづくり

自然エネルギーの活用やLED照明等の導入、自転車利用環境整備による自転車利用の促進など、低炭素型のまちづくりを推進するとともに、都心・副都心など中心市街地での道路・公園・河川の整備によるにぎわいのある快適なまちづくりに取り組みます。

- 2 ・ 継続

☀ 八幡東田グリーングリッド事業

230,000 千円

八幡東田地区では、スマートコミュニティ創造事業など、最先端のまちづくりを進めています。

八幡東田グリーングリッド事業では、これにふさわしい質の高い緑を創出し、CO₂の削減を図ります。

緑のモニュメント、幹線道路の高低木植栽

安全で安心な自転車利用環境、環境配慮型舗装

緑の中心軸となる東田大通り公園での質の高い緑化 など



- 2 ・ 継続

☀ 自転車利用環境の整備

775,000 千円

環境負荷の少ない自転車の利用を促進するため、安全で快適な自転車利用環境の整備を行い、低炭素型のまちづくりを推進します。



☀ **小倉都心・黒崎副都心の低炭素型まちづくり推進** 979,000 千円
【うち 484,000 千円は、「自転車利用環境整備」(p.7)の再掲】

小倉都心では、自転車利用環境の整備を推進するとともに、ヒートアイランド対策として環境配慮型舗装等を行ない、環境負荷の低減を図ります。

黒崎副都心では、ペDESTリアンデッキや公園の再整備に合わせて LED 照明等を推進します。

黒崎駅ペDESTリアンデッキ整備
自転車専用レーン整備、環境配慮型舗装
公園再整備(岡田公園) など



～黒崎駅前ペDESTリアンデッキ～

☀ **道路照明、公園照明の LED 化等の推進** 564,120 千円
【うち 1,920 千円は、「小倉都心・黒崎副都心の低炭素型まちづくり推進」
(p.8)の再掲】

低炭素社会の実現に向け、道路照明や街路灯・生活街路灯の LED 化等を推進します。

また、公園照明は、再整備する公園で LED 化等を図ります。



☀ **中心市街地の道路整備の推進** 4,126,000 千円
【うち 584,000 千円は、「小倉都心・黒崎副都心の低炭素型まちづくり推進」
(p.8)の再掲】

都心・副都心など中心市街地での道路整備を推進し、にぎわいのある快適なまちづくりに取り組みます。

小倉都心部 砂津長浜線、国道 199 号(砂津バイパス)、紫川東線 など
黒崎副都心 黒崎駅ペDESTリアンデッキ など

- 1 ・ 継続

☀ 環境学習の推進

17,667 千円

「到津の森公園」「水環境館」「ほたる館」
「板櫃川“水辺の楽校”」の4施設の連携による環境学習や、「長野緑地」の農業体験、
紫川水先案内人育成事業などを推進します。



～ 到津の森公園学習プログラム～

- 1 ・ 継続

☀ 美しい街なか景観の創出

98,000 千円

環境未来都市にふさわしい花や緑の街並み
形成のため、市街地の駅前等や観光地、イベント
開催地周辺を花で彩ることで、本市の魅力向上
を図ります。あわせて、街なかのクリーンア
ップも重点的に実施することで、美しい街並み
を創出します。



～ 小倉駅小倉城口周辺(平和通り)～

- 4 ・ 継続

☀ 市西部地区(香月・黒川地区)ホタル保護活動拠点の支援

38,000 千円

市内で最も多くのホタルが飛翔し、河川清掃などホタル保護育成活動が盛んな
香月・黒川地区において、地域の活動を支援する施設を整備し、人もホタルも住
み良い快適な環境の創出を推進します。



～ 黒川の清掃活動～

4 安全で安心な災害に強いまちづくり

九州北部豪雨災害や東日本大震災を踏まえ、河川の浸水対策や橋梁の耐震化など、災害対策の強化に取り組み、市民が安全に暮らせる災害に強いまちづくりを推進します。

- 1 ・ 継続

☀️ 水害から市民を守る河川緊急整備事業

310,000 千円



～平成 21 年 7 月豪雨の状況～
(紫川、長行東一丁目)

平成 21 年 7 月、平成 22 年 7 月の豪雨で浸水被害の大きかった 9 河川について、従来からの事業に加え、平成 22 年度から本事業に新たに着手し、5 年間で河川の拡幅や掘削、護岸の整備など、河川の緊急整備を集中的に取り組んでいます。

平成 24 年度末までに 5 河川の整備が完了予定で、平成 25 年度は残る 4 河川の整備を推進します。

紫川、相割川、笹尾川、金剛川

- 1 ・ 継続

☀️ 浸水対策事業の推進

2,056,000 千円

治水安全度の向上が必要な河川について、河川の拡幅など効果的な治水対策を計画的に実施し、浸水のない安全で安心なまちづくりを着実に推進します。

撥川、江川、板櫃川、金山川、神嶽川 など

- 1 ・ 継続

☀️ 災害時における緊急輸送道路の確保

819,000 千円

【 819,000 千円は「橋梁長寿命化事業」(p.5)の再掲】

地震時に重要な役割を果たす緊急輸送道路に架かる橋梁の耐震補強などを実施します。

長行田町線(紫川橋)

北九州芦屋線(払川大橋)など



5 交通・物流基盤の機能強化とネットワーク化

アジアなど国内外での本市産業の競争力強化や企業誘致を促進するため、物流拠点間のアクセスを強化し、広域的なネットワークの形成を図ります。また、地域間の連携を促進し、市民の交通利便性の向上等に資する道路ネットワークの整備を推進します。

- 2 ・ 継続

☀ 主要幹線道路の整備

7,045,540 千円

【うち 2,115,000 千円は、「中心市街地の道路整備の推進」(p.8)の再掲】

国道 3 号黒崎バイパス、国道 199 号砂津バイパス、国道 211 号、戸畑枝光線、中原戸畑 1 号線、砂津長浜線、都市計画道路 9 号線（熊谷～高野）、恒見朽網線 など



国道 3 号黒崎バイパス

3 事務事業の見直し等（主なもの）

（１）行政評価による見直し

子育てに配慮した公園整備

本事業は、既存公園に子育てに配慮したコーナーを設置することにより、乳幼児の心身の発達や保護者の情報交換や交流の場として寄与するなど、これまで順調な成果を達成してきました。

しかし、幅広い世代の様々なニーズに対応できる公園整備への要望が強いため、今後は地域住民と協働で計画づくりを行う既存の「地域に役立つ公園づくり事業」の中で取り組み、より効果的な公園整備を推進します。

（２）その他の見直し

道路施設の維持管理方式の見直し （トンネル長寿命化事業）

効率的かつ効果的な施設の維持管理を図るため、アセットマネジメント（ ）の考え方を取り入れ、定期的な点検結果に基づき、トンネルの状態に応じた保守工事を行うなど、トンネルを長持ちさせる維持管理を推進します。

これにより、施設の安全性の向上を図るとともに、将来的な維持管理トータルコストの削減を図ります。

アセットマネジメントとは、施設の状況把握と分析に基づき、問題箇所
の早期発見と適切な対応や、効果的な修繕による予防保全などを行い、
中長期的な視点でより効率的かつ効果的な資産管理を行う方法です。